

はんだ 夏の第九 2023

演奏前に第九の聴きどころをオーケストラが実演。
ラジオ「おは・クラ・サタデー」でナビゲーターをつとめる
音楽主幹の山本雅士がレクチャーします。

ベートーヴェン

交響曲第9番二短調作品125「合唱付」

2023年

7/2(日) 14:00 開演 (13:15 開場)
半田市福祉文化会館
(雁宿ホール) 大ホール



指揮 / 古谷誠一
(セントラル愛知交響楽団正指揮者)



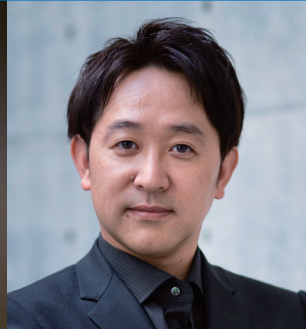
ソプラノ / 東 えり



メゾソプラノ / 安永紀子



テノール / 永井秀司



バリトン / 森 寿美

合唱 / ・はんだ夏の第九 2023 合唱団
・佳の会第九合唱団「響」
(佳の会 40 周年記念出演)

合唱指導 / 榊原佳子

管弦楽 / セントラル愛知交響楽団

入場料

【前列～20列】指定席 3,000 円 【21列～30列】自由席 2,500 円、学生券 (自由席のみ) 1,500 円 (入場時要学生証)

発売開始日 4/3 (月) ※車いす席をご利用の場合は【雁宿ホール】までお申し込みください。※未就学児の入場はご遠慮ください。

【チケット取り扱い】

■半田市福祉文化会館窓口 (雁宿ホール) 0569-23-7331 9:00～17:00 (休館日を除く)

■セントラル愛知交響楽団 052-581-3851 10:00～17:30 (土日祝を除く)

【お問い合わせ】

■合唱に関するお問い合わせ: 090-6584-8342 (榊原佳子) ■その他のお問い合わせ: セントラル愛知交響楽団 052-581-3851

チケットはセントラル愛知交響楽団のホームページからもお申込みいただけます。



はんだ 夏の第九 2023



指揮/古谷誠一(セントラル愛知交響楽団正指揮者)

都立立川高等学校を経て、東京大学卒業。在学中から桐朋学園オーケストラ研究生(指揮専攻)として、指揮を秋山和慶、堤俊作、尾高忠明の各氏に、作曲・ピアノを故矢代秋雄、三善晃、末吉保雄の各氏に師事。東大オーケストラ、一橋大学オーケストラの指揮、NHK東京放送合唱団、早稲田大学グリークラブ等のピアノ伴奏を務める。指揮者として二期会中四国支部のモーツァルト「魔笛」公演を指揮して活動を始める。以降、長門美保歌劇団の「チャルダッシュの女王」、日本バレエ協会での「パヤデルカ」「シェヘラザード」、日生劇場での東宝ミュージカル「マイ・フェア・レディ」など活動の場を広げている。東京フィル、東京シティフィル、新日フィル、九州交響楽団、関西フィル、N響団友会、名古屋フィルなど指揮。1997年10月にはカーネギーホールにて、オペラ「日本の夜明け」(演奏会形式)をセント・ルークスオーケストラ・ニューヨークと共演。2003年10月には韓国初のオペラハウスにおいて、オープニングフェスティバル「マダム・バタフライ」を指揮。2005～2006年、ボローニャ歌劇場にて研修。2008年4月に馬山市立交響楽団を、5月にはブダペストでショルティ記念オーケストラを指揮。また春風亭小朝師匠と組んだ音楽会、松崎しげる、宝塚スターらとの共演も好評を博す。合唱曲集、歌曲集など多数。現在、名古屋芸術大学名誉教授、セントラル愛知交響楽団正指揮者。



東 えり(ソプラノ)

名古屋音楽大学声楽科卒業。福祉施設・小中高等学校など地域に根ざした音楽活動を行う他、名古屋能楽堂室内オペラ「釣り女」、「女忠臣蔵」などの日本もののオペラの他、オペラ「ヘンゼルとグレーテル」「魔笛」、名古屋子どものための巡回劇場「葉っぱのフレディ」、「ぞうれっしやがやってきた」の音楽劇、「ピーターと狼」などの語りや司会や第九のソリストを務めるなど多数のコンサートに出演。名古屋オペラ協会40周年記念オペラ「銀河鉄道の夜」では主役ジョバンニ役を務める。現在名古屋オペラ協会会員、佳の会会員、半田商業高校・阿久比高校非常勤講師。



安永紀子(メゾソプラノ)

大阪芸術大学演奏学科卒業。同大学院修士課程修了。第36回なにわ芸術祭新人奨励賞受賞。第6回日本演奏家コンクール一般部門第1位、第6回藤沢オペラコンクール入選、第34回イタリアコンコロソ入選。第5回コンセルマロニエ21声楽部門審査員賞受賞時には、新聞紙上にて「たっぷり響く見事な声に恵まれている」と評された。コンサートではモーツァルト「レクイエム」、「雀のミサ」、ヴィヴァルディ「グローリア」、ベルゴレージ「スターバトマーテル」、ベートーヴェン「ハ長調ミサ」「第九交響曲」等にソリストとして出演。オペラでは、「フィガロの結婚」「魔笛」「リゴレット」「トロヴァトーレ」「蝶々夫人」「カルメン」「こうもり」「ヘンゼルとグレーテル」「西陣花舞台」に出演。現在、京都フィグラーコール指導者。京都バッハポリスメンバー。



永井秀司(テノール)

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。2017年名古屋二期会「椿姫」アルフレードをはじめ、愛知芸術文化センター開館20周年記念「ランメルモールのルチア」アルトゥーロ、オペレッタでは「こうもり」アルフレート、コンサートではベートーヴェン「第9」、W.A.モーツァルト「レクイエム」などに出演。エドガルド役で共演の「松波千津子ソプラノリサイタルVol.7」が平成30年度名古屋市民芸術祭「舞台芸術賞」、および第14回名古屋音楽ペンクラブ賞を受賞。2016年、2018年、2021年にソロリサイタルを開催。名古屋芸術大学非常勤講師。二期会、愛知ロシア音楽研究会各会員。中京大学混声合唱団技術顧問。

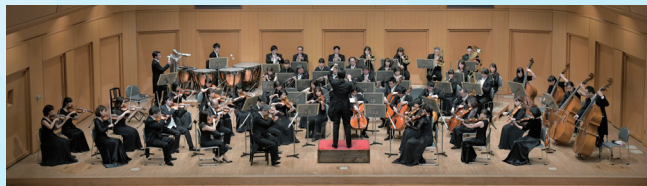


森 寿美(バリトン)

大阪教育大学卒業。沖縄県立芸術大学大学院修了。ミュンヘン音楽大学大学院修了。第5回長久手国際声楽オペラコンクール第1位、第43回ドヴォルジャーク国際声楽コンクールオペラ部門第2位(チェコ)、第79・85回日本音楽コンクール 声楽部門(歌曲)入選など国内外のコンクールにおいて上位入賞する。これまでにヘルムート・リリング、ウルフ・シルマー、秋山和慶各氏との共演があり、ソリストとして国内外のオーケストラと共演する他、プリンツレゲンテン劇場(ミュンヘン)、NHK-FM『リサイタル・ノヴァ』に出演するなどオペラ、宗教曲、ドイツ歌曲など様々な分野で活動している。現在、愛知県立芸術大学准教授、名古屋芸術大学非常勤講師。

セントラル愛知交響楽団

1983年ナゴヤシティ管弦楽団として発足。岩倉市との音楽文化普及事業委託契約による事業補助を受け1997年に現名称に改名。2009年一般社団法人となり、2021年4月に愛知県より認定を受け公益社団法人となる。2023年創立40周年を迎える。2019年4月から常任指揮者に名古屋出身の角田鋼亮が就任。定期演奏会、コンチェルトシリーズ、「第九」演奏会等の自主公演の他、バレエ、オペラ、ミュージカル等の依頼公演にも数多く出演。独自の構成によるプログラム、幅広いレパートリーを生かした学校公演、演奏者と聴衆の距離を縮めるような室内楽公演にも積極的に取り組んでいる。海外(2007年中国・2009年タイ・2017年韓国)でも公演し成功を収める。2015年半田市と音楽文化振興の協定、2019年一般財団法人稲沢市文化振興財団とも協定を締結。1996年「平成7年度愛知県芸術文化選奨文化賞」、2005年「平成16年度名古屋市民芸術奨励賞」、2007年「第2回名古屋音楽ペンクラブ賞」受賞。



半田市福祉文化会館 (雁宿ホール) 半田市雁宿町1丁目2-1 TEL/0569-23-7331



【JR 東海を利用する場合】

「名古屋」駅から武豊行(直通列車)に乗りし「半田」駅まで約35分
東海道本線「大府」駅から武豊線武豊行に乗りし「半田」駅まで約20分

【名鉄を利用する場合】

「名鉄名古屋」駅から河和線河和行または内海行に乗り
「知多半田」駅まで特急約30分、急行約35分、普通約1時間

新型コロナウイルス感染防止に関するお願い

- ・当日検温をしてからお越しください。※発熱及び頭痛や咳などの症状がある場合はご入場いただけません。
- ・入館時には手指の消毒及び体温チェックにご協力ください。
- ・今後の感染状況によっては内容が変更になる可能性がありますのであらかじめご了承ください。